

来月の消費予報

**消費意欲指数は、7月としては5年ぶりの50点台。
今年の最高値も更新。**

株式会社博報堂(本社・東京)のシンクタンク博報堂生活総合研究所は、20~69歳の男女1,500名を対象に「来月の消費意欲」を点数化してもらうなど、消費の先行きに関する調査を毎月実施。その結果を「来月の消費予報」として発表しています。※6月上旬に調査(詳細はP5)
7月の消費意欲指数は51.8点。前月比+3.9pt、前年比+3.2ptと、ともに大幅に上昇しています。

7月の消費意欲指数



【前月比】

【前年比】

+3.9 ポイント

+3.2 ポイント

■ : 前月比/前年比で上昇 ■ : 前月比/前年比で下降

「消費意欲が最高に高まった状態を100点とすると、あなたの来月(7月)の消費意欲は何点くらいですか?」と質問。

カテゴリー別 消費意向

【前月比】

【前年比】



★ UP : 前月比/前年比で20人以上増加 ● DOWN : 前月比/前年比で20人以上減少

「来月(7月)、特に買いたいモノ/利用したいサービスがありますか?」という質問に「ある」と回答した人に、具体的に「買いたいモノ/利用したいサービス」を選んでもらった結果を前月/前年と比較して作成。

7月のポイント

Point1: 消費意欲の高まりの背景に、外出自粛緩和や給付金支給があげられる

ボーナスシーズンである7月は、例年消費意欲指数が上昇する月ですが、50点を超えるのは5年ぶり、7月としては14年以降で最高値となりました。消費意欲指数の理由(自由回答)をみると、コロナ禍に関連する消費にネガティブな回答は、前月から大きく減少する一方(20年6月417件→20年7月290件)(以下、西暦略)、ポジティブな回答は増加(6月187件→7月216件)しており、両回答の差は縮んでいます。ネガティブな理由では、「コロナで外出・買物がしたくてもできない」(6月132件→7月109件)、「コロナが怖いので出かけたくない/意欲がわからない」(6月103件→7月67件)などが減少しています。一方、ポジティブな理由については、「自粛の反動で外出・買物がしたい/我慢していた消費をしたい」(6月107件→7月129件)が増加しています。また、「給付金が入る」(6月25件→7月38件)や、前年ほどの件数ではないものの「ボーナスが入った・入る」(6月11件→7月40件)が増えるなど、金銭的余裕・改善も消費意欲の上昇に影響を与えそうです。

Point2: 家の「内」「外」それぞれに対する充実意欲がみられる

「特に買いたいモノ/利用したいサービスがある」人の割合は、32.9%(前月比+1.6pt、前年比+1.9pt)となりました。内訳をみると、前年比、前月比ともに20件以上増加しているのは、「家電・AV」「PC・タブレット」でした。前年比のみでは「ファッション」「外食」「理美容」「書籍・エンタメ」、前月比のみでは「旅行」が20件以上の増加となっています。自粛緩和による外での消費だけでなく、コロナ禍の懸念が続くなか、生活環境や在宅勤務など自宅内の充実をはかる消費への意欲も高まっています。

Point3: コロナ禍の長期化や経済不安から、消費に慎重な声も存在

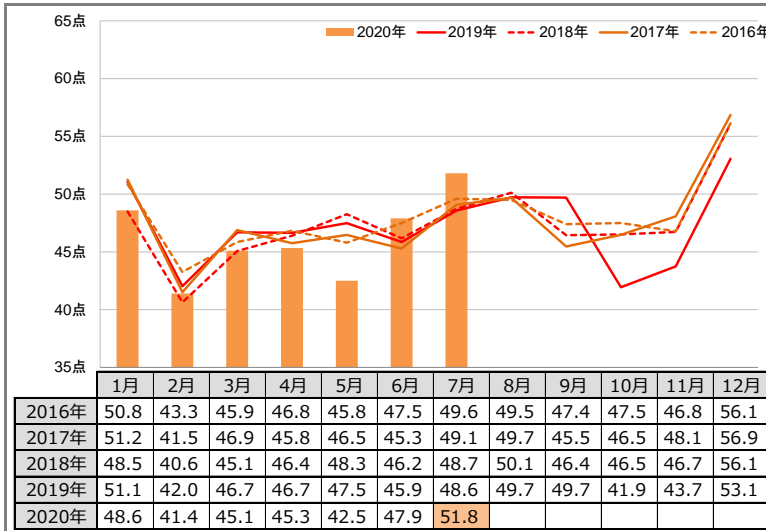
コロナ禍に関連する消費にネガティブな回答が減少する一方、「感染不安による外出自粛」(6月39件→7月53件)、「節約・儉約したい/将来不安」(6月55件→7月64件)などの意見は増加しています。自粛緩和や給付金支給の期待から消費意欲が高まりつつも、コロナ禍の長期化や経済面の不安感が拭えない様子が垣間見え、今後も注視の必要がありそうです。

消費意欲指数

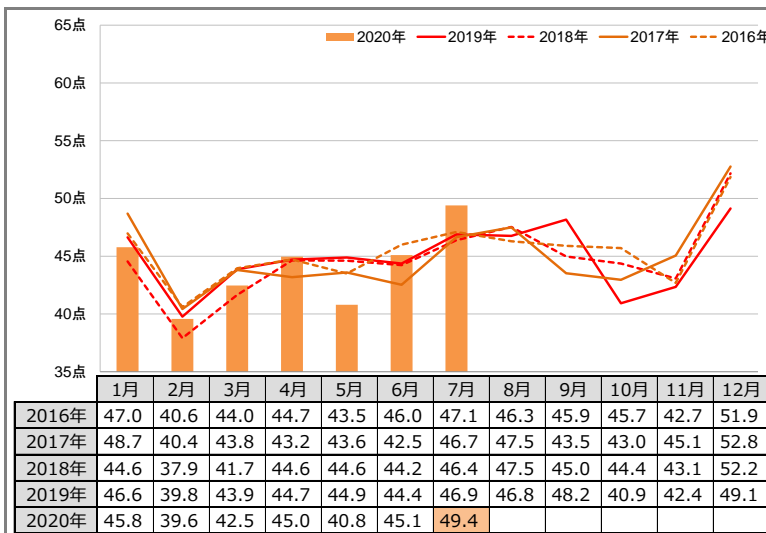
■ 時系列グラフ

Q. 消費意欲(モノを買いたい、サービスを利用したいという欲求)が最高に高まった状態を100点とすると、あなたの来月(7月)の消費意欲は何点くらいですか。(自由回答)

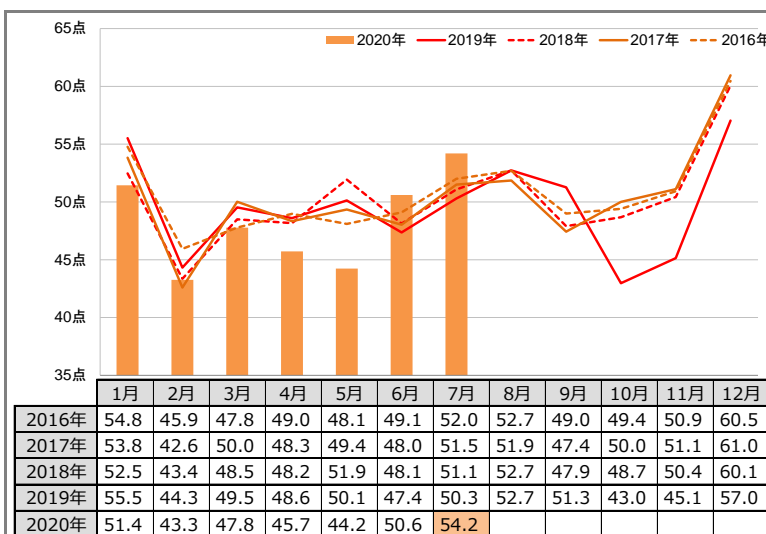
【全体】



【男性】



【女性】



消費意欲指数

■ 性別/年代別比較

	(点)						(pt)	
	20年2月	20年3月	20年4月	20年5月	20年6月	20年7月	20年7月比較	
							前月比	前年比
全体	41.4	45.1	45.3	42.5	47.9	51.8	+3.9	+3.2
男性	39.6	42.5	45.0	40.8	45.1	49.4	+4.3	+2.5
女性	43.3	47.8	45.7	44.2	50.6	54.2	+3.6	+3.9
20代	43.4	46.5	47.0	46.0	50.7	57.5	+6.7	+9.0
30代	42.0	47.5	45.5	43.3	51.5	52.9	+1.5	-0.8
40代	40.8	44.7	44.9	41.3	47.5	50.9	+3.3	+4.1
50代	37.4	43.3	45.1	40.1	44.5	48.0	+3.5	-0.3
60代	44.1	43.9	44.6	43.1	45.9	51.2	+5.3	+5.1

±3pt以上の増加

■ 消費意欲指数の理由(抜粋)

Q. (消費意欲の点数について)あなたがその点数をつけた理由をお答えください。(自由回答)

<生活者の声～消費意欲指数の理由～【コロナ禍に関連する消費にネガティブな回答】>

- ・コロナ影響で収入が減ったから(20点・男性29歳・東京都)
- ・コロナで収入が下がったし外出するのも怖いから(20点・男性33歳・兵庫県)
- ・6月後半から、また新型コロナの再流行による自粛が始まりそうな気がする(20点・男性40歳・愛知県)
- ・コロナが収束してないと思うので消費する気持ちが向上しない(30点・男性52歳・東京都)
- ・新型コロナの影響で外出自体が不自由なため、何もする気になれないから(10点・男性60歳・愛知県)

- ・コロナが怖いので外に買い物に行けないだろうから(30点・女性22歳・東京都)
- ・買いたい物は、たくさんありますが、コロナがまだ終息していないので緊急の時のために貯めておきたいから(20点・女性33歳・愛知県)
- ・コロナウイルスの緊急事態宣言は解除されたが、もうすこし外出を控えたいから(30点・女性49歳・大阪府)
- ・直近3ヶ月の減った収入とこれからの景気を考えてしまい、倹約しないとまずいなど考えてしまう(40点・女性57歳・神奈川県)
- ・コロナウイルスの影響で不要な外出は避けているために食費くらいしか「買うイメージ」がない(30点・女性63歳・愛知県)

<生活者の声～消費意欲指数の理由～【コロナ禍に関連する消費にポジティブな回答】>

- ・7月はボーナスも入りコロナウイルスの緊急事態宣言も解除されたので旅行に行ったりおいしいものをたくさん食べたい(80点・男性23歳・三重県)
- ・外出自粛で買い物にいけなかった(80点・男性35歳・大阪府)
- ・給付金がでるだろうから(80点・男性43歳・大阪府)
- ・コロナの影響で、外出も買い物も我慢しているが、もう限界だから(100点・男性52歳・埼玉県)
- ・外出禁止が解除され反動で買い物したい気持ちが強い。ただ 今後の景気に不安があるためあまり気持ちよく買い物ができない(80点・男性67歳・愛知県)
- ・コロナウイルスと就職活動の両方が影響して行動が制限されていたため。外食や趣味、美容室などに使いたい(80点・女性21歳・愛知県)
- ・コロナでどこも行けず何も買わずに2ヶ月ほど過ごしたので物欲が爆発しそうだから(100点・女性33歳・愛知県)
- ・給付金がもらえるので、経済を回すためにも、何か購入したいと思っている。しかし、現実的には、コロナの第二波に備えて貯蓄しておきたい気持ちも多少ある(80点・女性42歳・大阪府)
- ・今年に入り食料品などの必要な商品しか購入していないし、ゆとり買い物をしていないので、色々見て購入してみたい(90点・女性59歳・大阪府)
- ・コロナの自粛で春が無かったような気がする。完全に収束したわけではないので不安は有るが宿泊施設や店舗も感染に備えているようなので温泉旅行や買い物をしたい(80点・女性66歳・神奈川県)

()内点数:消費意欲指数

(参考) 新型コロナウイルス周りの主な動き ※前回調査(5月7日～11日)後より今回調査(6月4日～8日)まで

- 5月14日 39県の緊急事態宣言が解除
- 5月15日 大阪府、休業要請を段階的に解除へ
- 5月20日 高野連、夏の甲子園大会、中止を発表
- 5月21日 大阪、兵庫、京都の緊急事態宣言が解除
- 5月22日 東京都の3段階の緩和工程「ロードマップ」詳細が判明
- 5月25日 北海道、埼玉、千葉、東京、神奈川の5都県の緊急事態宣言の解除により、47都道府県すべてで解除
- 5月31日 世界の感染者600万人超、10日で100万人増
- 6月1日 東京都、自粛要請緩和、STEP2へ移行。商業施設や学習塾の休業要請解除
都内の公立学校、約3か月ぶりに授業を再開
大阪府、残る休業要請を全面解除。兵庫や京都も解除。
- 6月2日 東京都は新感染者34名確認と発表、独自の警戒情報「東京アラート」を発動

補足資料③

特に買いたいモノ・サービス

■ 特に買いたいモノ・利用したいサービスがある人の割合

Q. あなたが来月(7月)、特に買いたいモノ・利用したいサービスはありますか。(単一回答:ある/ない)

	2020年7月(%)	前月比(pt)	前年比(pt)
全体	32.9	+1.6	+1.9
男性	31.5	+2.1	+2.0
女性	34.2	+1.0	+1.6

■ 買いたいモノ・利用したいサービス

(特に買いたいモノ・利用したいサービスがある人ベース)

Q. 特に買いたいモノ・利用したいサービスとは何ですか。(複数回答)

【全体】(493人)

参考:男性(238人)

参考:女性(255人)

順位	カテゴリー	7月 (人数)	前月比	前年比	順位	カテゴリー	7月 (人数)	前月比	前年比	順位	カテゴリー	7月 (人数)	前月比	前年比
1	ファッション	269	+18	+31	1	外食	109	+17	+19	1	ファッション	166	-2	+18
2	外食	247	+8	+61	2	ファッション	103	+20	+13	2	外食	138	-9	+42
3	食品	201	-6	+10	3	旅行	102	+26	+5	3	食品	111	-17	±0
4	旅行	198	+35	+12	4	食品	90	+11	+10	4	化粧品	104	+2	+3
5	家電・AV	155	+46	+30	5	家電・AV	83	+19	+15	5	理美容	102	-38	+35
6	飲料	148	+2	-5	6	書籍・エンタメ	79	+12	+10	6	旅行	96	+9	+7
7	レジャー	142	-3	+3	7	レジャー	75	+10	+13	7	飲料	81	-2	+4
8	書籍・エンタメ	135	+13	+21	8	飲料	67	+4	-9	8	日用品	77	+10	+13
8	理美容	135	-43	+37	9	パソコン・タブレット・周辺機器	62	+19	+28	9	家電・AV	72	+27	+15
10	化粧品	118	+8	+5	10	スマートフォン・携帯電話	38	+14	+6	10	レジャー	67	-13	-10
11	日用品	113	+19	+15	11	日用品	36	+9	+2	11	書籍・エンタメ	56	+1	+11
12	パソコン・タブレット・周辺機器	82	+21	+33	12	装飾品	34	+10	+1	12	インテリア用品	52	+8	+17
13	装飾品	78	+15	+2	13	理美容	33	-5	+2	13	装飾品	44	+5	+1
14	インテリア用品	71	±0	+6	14	車・バイク	29	+12	-17	14	パソコン・タブレット・周辺機器	20	+2	+5
15	スマートフォン・携帯電話	58	+19	+14	15	インテリア用品	19	-8	-11	14	スマートフォン・携帯電話	20	+5	+8
16	車・バイク	38	+16	-16	16	化粧品	14	+6	+2	16	車・バイク	9	+4	+1

<全体にのみ下記基準で色付け>

※男女別ランキングは、母数が少ないため参考値

■ : 前月比/前年比で20人以上増加

■ : 前月比/前年比で20人以上減少

調査概要

■ 質問項目(質問文)

[消費意欲指数]

消費意欲(モノを買いたい、サービスを利用したいという欲求)が最高に高まった状態を100点とすると、あなたの来月(7月)の消費意欲は何点くらいですか。(自由回答)
また、あなたがその点数をつけた理由をお答えください。(自由回答)

[特に買いたいモノ・利用したいサービス]

あなたが来月(7月)、特に買いたいモノ・利用したいサービスはありますか。(単一回答:ある/ない)
特に買いたいモノ・利用したいサービスとは何ですか。(複数回答)

調査概要	生活総研が、生活者の気持ちの変化を読み解くために、生活に関する意識を指数(100点満点評価)で回答してもらうものです。					
調査地域	①首都40km圏 ②名古屋40km圏 ③阪神30km圏					
調査対象者	20～69歳の男女					
対象者割付	調査地域①～③各500人を各地域の人口構成比(性年代)に合わせ割付					
サンプル数	合計1,500人					
	20代	30代	40代	50代	60代	合計
男性	122	145	190	161	137	755
女性	119	141	185	158	142	745
合計	241	286	375	319	279	1,500
調査方法	インターネット調査					
調査時期	2020年6月4日(木)～8日(月)(2012年4月から調査開始/毎月上旬に実査)					
調査機関	株式会社 H.M.マーケティングリサーチ					

<備考>

「来月の消費予報」は、毎月下旬に翌月の消費意欲指数を発表いたします。

・博報堂生活総合研究所は、6/18付で「第3回 新型コロナウイルスに関する生活者調査(2020年6月)」を発表いたしました。

<https://seikatsusoken.jp/wp/wp-content/uploads/2020/06/corona-release06-1.pdf>

こちらは、毎月第3・4週頃に発表する予定です。併せてご利用下さい。

問い合わせ先 株式会社博報堂 広報室(寺村) koho.mail@hakuodo.co.jp

データ公開 本調査のデータは、生活総研のホームページ(<https://seikatsusoken.jp/shohiyoho/2020-07/>)からダウンロードしていただけます。